学校番号	３０５

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来（実教出版）						
副教材等	自主制作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、より良い暮らしについて考え、積極的に課題・実習に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、より良い生活を目指しましょう。

2　学習の到達目標

・人の一生を生涯発達の視点でとらえ，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解する。
・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し，家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付け理解している。
評価方法	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 発表　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品 発表　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品　等	学習状況の観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄの記述 ﾚﾎﾟｰﾄの記述 作品 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	自分らしい生き方と家族	1　自分を見つめる 2　自立した生き方、共に生きる人生 3　共に生きる家族 4　家族に関する法律 5　私たちの生活を支える労働と生活時間	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:家族や家庭生活の在り方などについて検討するために，新聞や書籍などから必要な資料を収集したり，調査したりすることができる。 d:人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期考査
	子どもとかかわる	1　子どもを知る 2　発達のすばらしさ 3　子どもの生活 4　親になることを考えよう 5　すこやかに育つ環境 ＊折り紙を用いての製作 ＊保育園での見学と実習 ＊沐浴実習	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	
	高齢者とかかわる　社会とかかわるる	1　高齢社会に生きる私たちの暮らし 2　高齢者を知る 3　豊かな高齢期を迎えるしくみ 1　支えあう暮らしとは 2　私たちの社会福祉 3　地域社会の一員としてのボランティア	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ 	a:高齢者の生活、共生社会と福祉について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活、共生社会の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活、共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える認識するために必要な知識を身に付けている。	

	消費者として自立する	2 章　経済的に自立する 1　経済のしくみを知る 2　ライフステージと経済計画 ＊マネープランゲーム 1 章　消費行動を考える 1　消費行動と意思決定 2　社会の変化と消費生活 3　消費者の権利と責任 4　持続可能な社会環境 ＊社会への扉	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○

	ホームプロジェクト	1 ホームプロジェクトの進め方 2 テーマ徹底 3 課題研究(冬休み課題) ＊プレゼンテーション	○	 ○	 ○ ○	 ○	a:家族の生活時間や，食･衣･住，ボランティア活動など，自分の生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生活の中の課題を見いだし，その解決をめざして考え，判断し，表現している。 c:快適な生活を営むために必要な実施計画を立て，実施している。また，実施に必要な技術を身に付けている。 d:健康で快適な生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ
	住生活をつくる	1 人と住まいのかかわり 2 住まいを計画する 3 健康的な住まい環境 4 安全な住まい環境 5 これからの住まいを考える ＊シニア体験 ＊車椅子体験	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を営むために必要な知識を身に付けている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ ＊は、実習・実験など、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。